

山形県広報誌県民のあゆみ令和7年9月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和7年9月号 第647号

県民のあゆみ9月号

特集1 みんなの地球（あす）のためにチャレンジ！

カーボンニュートラルやまがた県民運動（2ページ）

特集2 子育て家庭が安心して外出できる環境づくりに向けて（4ページ）

特集3 応急手当講習会を受講しましょう（5ページ）

奏であう人（8ページ）

潜入レポート！（16ページ）

今月の表紙

やまがたカーボンニュートラル大使の山形工業高等学校「機械技術研究会」の皆さん。超小型風車の発電効率向上の研究（注釈）を進めており、風力発電コンペにおいて好成績を収めています。（撮影協力：山形工業高等学校）

（注釈）超小型風車ブレード（羽根）における最適形状の研究

<https://www.pref.yamagata.jp/documents/25907/yamakouni.pdf>

<2から5ページ>

タイトル

特集

みんなの地球（あす）のためにチャレンジ！

カーボンニュートラルやまがた県民運動

写真キャプション やまがた環境展 2024

カーボンニュートラルとは

二酸化炭素（シーオーツー）などの温室効果ガスの空気中に出る量と吸収される量を均衡させて、温室効果ガスを増やさないようにすることを指します。

現在は、温室効果ガスの排出量（二酸化炭素の排出）が吸収量（二酸化炭素の吸収）を上回る状態です。そこから、排出量においては、徹底した省エネと再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出量の削減や、森林などによる二酸化炭素吸収量の増加に努めることで、2050年には排出と吸収の差し引きゼロを目指します。

それらをカーボンニュートラル達成イメージとして構想しています。

あなたの排出しているシーオーツーツーは何トン？

測ってみよう！デカボマイスコア

あなたは日常生活でシーオーツーツーを何トン排出しているでしょう？

脱炭素（デカボ）への個人の貢献度合いをスコア化できるツールを県内初導入！生活におけるシーオーツーツー排出量を簡単に推計できます！登録不要！簡単な質問に答えるだけ。

詳細はこちら

<https://decarbo.earth-hacks.jp/myscore/yamagata/>

猛暑や大雨が増えているのはなぜ？

近年、全国各地で猛暑日の最多記録を更新し、集中豪雨などの気象災害が頻発・激甚化しています。昨年7月の大雨は、本県で発生した水害としては過去最大の被害をもたらしました。これらは、地球温暖化がその一因とされています。

地球温暖化が進むとどうなる？

熱中症患者や気象災害の増加のほか、農業が盛んな本県で、気温が高い日が続けば、品質や収量に影響し、おいしいお米やさくらんぼを作ることが難しくなります。

地球温暖化を防ぐため、全国で2050年までにカーボンニュートラルの実現に向けた取組みが進められています。

県民総ぐるみの運動があるの？

温室効果ガスは主に工場などから排出されると思われがちですが、実は私たちの家庭からも多く排出されています。本県は、冷房・暖房の使用が多いことや車社会であることから、家庭および自動車から排出される割合が大きくなっています。県民一人ひとりが地球温暖化の問題を「自分ごと」として捉え、自ら行動していくことが重要です。

県では、「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言し、県民、事業者、行政がカーボンニュートラル実現に向けて主体的に行う取組み（かえる・つくる・かかわる）を「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」としてまとめています。

さらに、同プランに基づき、「カーボンニュートラルやまがた県民運動」を実施しています。

家庭からもたくさんのシーオーツーツーが排出されている！

温室効果ガス排出割合（2022年度/全国）

家庭部門

照明・家電など 30.9パーセント

自家用乗用車 25.4パーセント

暖房 16.9パーセント

給湯 13.6パーセント

キッチン 5.3パーセント

ごみ 3.9パーセント

冷房 2.2パーセント

水道 1.9 パーセント

部門別

家庭部門 20.9 パーセント

内訳：

家庭 15.3 パーセント

家庭の自動車 5.6 パーセント

企業・公共部門 79.1 パーセント

内訳：

業務その他 17.3 パーセント

運輸 12.9 パーセント

産業 34.0 パーセント

エネルギー転換 7.9 パーセント

工業プロセス他 3.9 パーセント

廃棄物 2.9 パーセント

その他 0.2 パーセント

(出典) 国立研究開発法人 国立環境研究所

実行するだけでカーボンニュートラルにつながる！ 地球にもお財布にもやさしい脱炭素アクション 3つのこと

1 かえる

意識を変える

道具を換える

行動を変える

車に乗る際はムダなアイドリングはやめよう

ちょっとしたお買い物などの駐車の際、エンジンをかけっぱなしにしていますか？

1日10分間のアイドリングを止めた場合 (注釈) 1リットル=175円と仮定

1年間の省エネ効果 ガソリン51.1リットルの省エネ シーアーツー削減量32.85キログラム・約8,940円の節約

入浴は間隔をあけずに入ろう

追い焚きを1日1回減らした場合 (2時間放置により4.5度低下したお湯)

1年間の省エネ効果 ガス38.20立方メートルの省エネ シーアーツー削減量85.7キログラム・約6,190円の節約

シャワーは不必要に流したままにしない

45度の湯を流す時間を1分間短縮した場合

1年間の省エネ効果 ガス12.78立方メートルの省エネ・水道4.38立方メートルの節水

シーオーツー削減量 28.7 キログラム ・ 約 3,210 円の節約

カーボンニュートラル標語コンテスト令和6年度グランプリ作品

この地球 守るもこわすも 人しだい（小学生の部）

脱団素 未来のために 今アクション（中学生の部）

選ぶなら 省エネ家電を エコひいき（一般の部）

2 つくる

エネルギーを創る

地域活力を作る

高断熱・高気密性能住宅「やまがた省エネ健康住宅」とあわせて、太陽光発電設備などの設置を検討している方へ

やまがた省エネ健康住宅・再エネ設備パッケージ補助金

<https://www.pref.yamagata.jp/tatekkana/support/shien/package.html>

家庭・事業所における再生可能エネルギー等設備の導入を検討している方へ（蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用装置など）

やまがたみらくるエネルギー補助金

https://www.pref.yamagata.jp/050016/kurashi/kankyo/energy/saiseikanou/saiseikanou_hojo_h31.html

3 かかわる

自分ごととして積極的に参加する

学校の授業やPTA活動、自治会や会社の研修会で環境教室を開きたい方へ

環境教室（職員出前講座）

<https://www.pref.yamagata.jp/053001/kurashi/kankyo/kyoiku/gakushuushien/class.html>

県内に広がる脱炭素アクションの輪

将来を担う小・中・高校生が「やまがたカーボンニュートラル大使」となり、学校での省エネや新たな発電方法の研究、リポーターとして県内の取組みを紹介する活動をしています。

また、企業にも脱炭素の取組みが求められている中、県では、県内の中小企業を対象に、省エネ推進や再エネ導入、サプライチェーンへの拡大といった脱炭素経営促進に関するセミナーを開催しています。

二酸化炭素を減らす意識・行動はもちろん、二酸化炭素を吸収してくれる森林へのかかわりも大事です。県産材を購入し利用することは、林業の振興につながり、適切に整備された森林は二酸化炭素の吸収源として最大限に機能するようになります。

こどもたちの未来のため、地球のため、このふるさと山形県のためにも、できることから脱炭素に取り組んでいきましょう！

やまがたカーボンニュートラル大使

https://www.pref.yamagata.jp/050015/yamagata_carbonneutral_ambassador.html

やまがたの森林

<https://www.pref.yamagata.jp/documents/10138/2024yamagatanoshinrin.pdf>

写真キャプション 小杉の大杉 鮭川村

問い合わせ 環境企画課 電話番号 023-630-2336

<4 から 5 ページ>

タイトル

やまがた「赤ちゃんほっとステーション」 子育て家庭が安心して外出できる環境づくりに向けて

「赤ちゃんほっとステーション」とは？

県では、子育て家庭が安心して外出できるよう、授乳・搾乳、おむつ替え設備が整備された施設を登録し、その所在を周知する取組みを行っています。

要件をすべて満たし、無料で利用できる公共施設や商業施設を「赤ちゃんほっとステーション」として登録しています。登録された施設は、やまがた子育て応援サイト上の地図で確認ができます。

登録施設の確認はこちらから

<https://kosodate.pref.yamagata.jp/support/baby-hotto-station>

写真キャプション 登録施設に掲示されているステッカー

このような設備を完備する施設を登録しています

- ・授乳・搾乳できる場所
- ・おむつ替えができる場所
- ・ミルク用の給湯設備・お湯の提供
- ・手洗い設備
- ・冷暖房設備

写真キャプション 登録施設の例（山形県庁）

県が運営する子育て家庭向け情報サイト

やまがた子育て応援サイト

「赤ちゃんほっとステーション」の確認のほか、協賛店でさまざまなサービスを受けられる「子育て応援パスポート」のダウンロードや、子連れで楽しめるおでかけスポットの紹介など、子育てに役立つ情報を発信しています。

こちらからアクセス

<https://kosodate.pref.yamagata.jp/>

登録施設に企業のみなさまよりご寄附いただいた消耗品を配置しています！

令和6年度より、子育て家庭を応援する企業・団体よりご寄附いただいた紙おむつやおしりふきなどの消耗品を「赤ちゃんほっとステーション」に配置する取組み『「赤ちゃんほっとステーション」応援企業寄附制度』を実施しています。

ご寄附いただいた企業・団体名は、寄贈品を配置している施設の掲示物や、やまがた子育て応援サイトで紹介しています。

写真キャプション 山形県総合運動公園に配置された寄贈品

事業主・企業のみなさまへ

できることから子育てを応援してみませんか？

こどもや子育て家庭に対する応援活動を県民総ぐるみで実践する「山形みんなで子育て応援団」の取組みを進めています。子育て家庭が安心して外出できる環境づくりに向け、引き続きみなさまのご協力をお願いします。

応援活動1

「赤ちゃんほっとステーション」の登録施設になって応援！

登録要件を満たすための環境整備に活用いただける補助金もご用意しています。

- ・ 補助金申請期限 令和8年1月30日（金曜日）
- ・ 補助額 対象経費の2分の1（上限あり）

応援活動2

「赤ちゃんほっとステーション」応援企業寄附制度に参加して応援！

- ・ 申込期限 令和8年1月23日（金曜日）

登録施設のお申込みや、補助金・寄付制度についての詳細は、やまがた子育て応援サイトをご覧ください。

問い合わせ しあわせ子育て政策課 電話番号 023-630-2318

タイトル

**あなたの勇気で救える命があります！
応急手当講習会を受講しましょう**

応急手当（心肺蘇生法）を行うことで命が助かる可能性が高まります。
心臓マッサージで2倍、AEDで6倍 生存率が上昇

- ・救急車が到着するまで平均 10 分程度かかります。その間に心肺蘇生や AED（自動体外式除細動器）を使用すると生存率が高まります。
- ・心臓や呼吸が止まると助かる可能性は時間とともに下がります。命を救うために最新の応急手当を学びましょう。

応急手当（心肺蘇生法）とは

突然のけがや病気で、救急車が到着するまでの間、家庭などで行う手当のことを応急手当といいます。

特に、胸を強く圧迫する「胸骨圧迫」や、口から肺へ息を吹き込む「人工呼吸」による「心肺蘇生法」や AED の使用が重要です。

胸骨圧迫や人工呼吸、AED の使い方などの動画は消防庁のホームページで確認できます。

消防庁

<https://www.fdma.go.jp/relocation/kyukyukikaku/oukyu/index.html>

心臓と呼吸が止まってからの時間経過と、そこにおける命が助かる可能性について。居合わせた人が救命処置をした場合は、救急車が来るまで何もしなかった場合に比べて、2 倍以上の生存率の高さを保っています。特に、救急車が到着するまでの 10 分程度においては、救命処置を行った場合は約 18 パーセント、何もしなかった場合は約 6 パーセントと、約 3 倍の差が生じます。それらのデータから、応急手当が命を助ける可能性を高める重要な行為であることは明白です。

出典：一般社団法人あんしん財団ホームページ

救急現場での行動が命を救う！応急手当の重要性を学ぼう

応急手当に関する講習会のご案内

応急手当講習会は県内各地の消防署や日本赤十字社山形県支部で行われています。いざという時、落ち着いて行動し、大切な人を守るためにも受講してみませんか。

消防署で行っている講習会

- ・救命入門コース（45 分から 90 分）
- ・普通救命講習（3 から 4 時間）
- ・上級救命講習（8 時間）
- ・応急手当普及員講習（3 から 24 時間）
- ・応急手当指導員講習（8 から 24 時間）

各消防署連絡先

<https://www.fdma.go.jp/relocation/kyukyukikaku/oukyu/index.html>

日本赤十字社山形県支部で行っている講習会

- ・救急法短期講習（2 時間）
- ・救急法基礎講習（4 時間）
- ・救急員養成講習（13 時間）

日本赤十字社山形県支部

<https://www.jrc.or.jp/chapter/yamagata/study/emergency/>

村山、最上、置賜、庄内の各保健所で行っている講習会

・管内の市町村や消防署と連携して AED の使い方をはじめとした講習会を開催しています。

【問い合わせ先】

村山保健所 023-627-1182

最上保健所 0233-29-1257

置賜保健所 0238-22-3872

庄内保健所 0235-66-5478

写真キャプション 応急手当講習会の様子（置賜広域行政事務組合消防本部開催、普通救命講習会）

県内 AED の設置場所

県では、AED の周知および活用を進めるため、毎年県内公共施設にある AED の設置状況を調査し、県ホームページに掲載しています。

AED 設置状況

<https://www.pref.yamagata.jp/090013/bosai/shobo/kyuukyuu/aed/yamagataaed.html>

応急手当講習受講優良証の交付制度

応急手当講習の受講率などの条件を満たす事業所・団体に対し「応急手当講習受講優良証」を交付しています。

交付を受けた事業所は、県の建設工事の競争入札参加資格において、「その他の地域貢献活動」の一つとして加点される優遇制度の対象となります。

事業所にお伺いしての講習会の実施も可能です。

詳しくは、各消防署へご相談ください。

交付制度詳細

<https://www.pref.yamagata.jp/020080/bosai/shobo/kyuukyuu/oukyuuteateyuuryou.html>

問い合わせ

（応急手当講習会に関する事）消防救急課 電話番号 023-630-2228

（AED 普及啓発に関する事）医療政策課 電話番号 023-630-3366

<6 から 7 ページ>

タイトル **県政トピックス** こんなことがありました

1) 持続可能で明るい山形県の未来を目指して

『県民まんなか』みらい共創カフェ（令和7年7月3日 東京都内）

人口減少が進む中であっても、持続可能で明るい本県の未来を共に考える「『県民まんなか』みらい共創カフェ」を、本県出身大学生の参加を得て東京都内で開催しました。

参加者からは「首都圏で得た出会いや知識を地元を持ち帰り貢献したい」、「子どもは山形でのびのび育てたい」との発言や「本県出身者とながれるコミュニティがあればUターンを考えるきっかけになる」などの意見をいただきました。今後も幅広い年齢層と順次対話を続けていきます。

2) やまがたフルーツ 150 周年とさくらんぼシーズン到来を祝して

「さくらんぼメモリアルフェスタ」（令和7年6月6日から7日 山形市）

やまがたフルーツ 150 周年とさくらんぼシーズンの到来をお祝いするイベントを、山形さくらんぼの日（6月6日）および翌7日に開催しました。吉村知事は、記念式典の中で、先人たちの思いを受け継ぎ、これからも本県のおいしいフルーツを全国に届けるとともに、関連する幅広い産業の発展を目指すことを宣言しました。

また、流しさくらんぼや高校生による吹奏楽・ダンスなどが行われ、多くの方が参加して、会場を盛り上げました。

3) 地域活動への一歩を踏み出す交流会

若者支援コンシェルジュ第1回交流会（令和7年6月21日 山形市）

地域活動に興味を持つ若者を対象とした交流会を山形市で開催しました。第1回は「地域活動の始め方」をテーマに、経験豊富な実践者がノウハウや経験談を語りました。

高校生や大学生、社会人など幅広い参加があり、これから取り組みたい活動や思いを共有してつながりを深めました。今年度は、「仲間づくり・応援者づくり」、「活動の広げ方」、「会計業務と補助金活用」などをテーマに、継続して開催する予定です。

4) やまがたつながり支えあいネットワーク設立キックオフイベント

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム設立キックオフイベント（令和7年6月30日 山形市）

オール山形で孤独・孤立対策に取り組むことを目的に、令和7年4月に設立した官民連携のプラットフォーム「やまがたつながり支えあいネットワーク」のキックオフイベントを山形市で開催しました。

現在、このネットワークには80以上の団体が参画しています。孤独・孤立は、誰にでも起こり得る課題であり、本ネットワークを通じて官・民・NPOなどが連携し、孤独・孤立対策の取組みを推進していきます。

5) 東北農林専門職大学、オープンキャンパス開催！

東北農林専門職大学第1回オープンキャンパス（令和7年7月13日 新庄市）

開学2年目を迎えた東北農林専門職大学では、7月にオープンキャンパスを開催しました。当日は大学の教育内容や施設紹介に加えて、模擬講義や稲作、果樹、野菜・花き、畜産、森林の5つのコースの実習体験を実施しました。

7月13日は高校生を中心に83名が参加し、模擬講義や大学生の生の声に熱心に耳を傾けていました。また、米や果物の品質・食味検査、牛の健康観察のほか、チェーンソーを使った実習に取り組み、大学生活への理解を深めました。

知事コラム

「持続可能で明るい山形の未来」を共に創っていきましょう！

本県人口は、大正14年以降、約100年ぶりに100万人を下回りました。残念!!県民の皆さまもショックだったと思いますが、人口の減少は、新たな発想や技術などが生まれる可能性がある好機でもあると思います。

いま世の中は、デジタルやエーアイなどの技術革新が加速しておりますし、県外や国外と日常的につながるグローバル化が進展しています。また人々の考え方や暮らし方も多様化してきておりますので、行政や企業、団体や個人など、これまでの枠組みにとらわれず、皆が持っている知恵を出し合いながら、こうした情勢の変化を前向きに活かして社会を変えていく視点が重要です。

そこで、産業・教育・金融・労働・言論・行政などの各界の皆さまが一堂に会して協議を行う

「やまがた未来共創会議」や、若者や女性をはじめ、こどもから高齢者の方まで各年齢層の方々と私が、山形県の明るい未来について語り合う「『県民まんなか』みらい共創カフェ」を順次開催しているところです。

人口減少が進行する中であっても、前を向いて持続可能で明るい山形の未来を目指し、一緒に挑戦してまいりましょう。

山形県知事 吉村美栄子

<8から9ページ>

タイトル **奏であう人** ボリューム 83

撮影場所 みさきの一軒家（鶴岡市）

キーワード **海から芽吹く、未来の種**

宮城からIターンし、今年の春から漁師となった志田圭さんと、庄内の食文化を伝える料理の提供と加工に携わる岡崎雅也さんに、庄内浜の恵みと漁業の魅力についてお聞きしました。

岡崎雅也（おかざきまさや）さん（鶴岡市）

1980年鶴岡市生まれ、同市在住。株式会社岡ざき代表取締役。大学卒業後、建築業に就職したのち、父親が経営する飲食店「魚亭岡ざき」に就職。現在は料理人として板場に立ち、庄内浜の魚を生かした料理を提供する一方、郷土の魚介や野菜などを加工販売する「みさきの一軒家」を立ち上げ、地域の食文化の魅力を発信している。

写真キャプション みさきに建つ、料理上手なお母さんのいる家の食卓をコンセプトに、庄内浜の魚介と鶴岡の食材を掛け合わせた加工食品を展開する「みさきの一軒家」。まぐろの尾の身をカレーに仕立てた料理や、由良穴子の佃煮、在来野菜と合わせた料理など、郷土の味を伝えている。

志田 圭（しだけい）さん（酒田市）

1986年宮城県多賀城市生まれ、酒田市在住。趣味の釣りをきっかけに海に魅せられ、国内外のさ

まざまな漁場を巡ったのち、庄内浜に出会う。酒田市で尊敬する漁師と出会い師事し、移住を決意。1年間の漁業研修を経て、2025年春より漁協の組合員となり、新規漁業就業者としての道を歩みはじめる。

写真キャプション 初めてハゼを釣った瞬間、竿に伝わる力強い引きに体中が震え、海の魅力に心を奪われたという志田さん。現在は、Instagramで庄内の魚の魅力を発信しつつ、遊漁船を営むご主人の船に乗りながら実践を重ね、自らの船を持つことを目指している。

海との出会いが導いた漁師としての第一歩

「釣りが好きで、日本海側の海を知りたいと思い訪れたことが、酒田の海との出会いでした」。そう話すのは、今年の春から酒田市で漁業に従事している志田さん。10年ほど前から趣味の釣りに夢中になり、庄内浜を訪れたことをきっかけに、その魚種の豊富さに惹かれ、漁業研修を1年間受けたのち、漁師としての一歩を踏み出しました。

「同じ魚でも、太平洋のものとは味がまったく違う。庄内の魚はエビやカニなどをたくさん食べているので、身にしっかりと旨みが乗るんです」。

現在は、遊漁船を運営するご主人の船に乗りながら、漁師としての経験を積むため、操船の練習や、季節の魚を追う日々を送っています。

「釣った魚をどう扱うかも大切で、並べ方、氷の使い方ひとつで魚の状態も、商品としての価値も大きく変わってきます。漁師の先輩に教わりながら、一人前を目指しています」。獲って終わりではなく、届けるまで心を配ることが、漁師としての誇りにつながっていると話します。

食を通して、海を伝えたい庄内の恵みを、日々の食卓へ

一方、鶴岡市で魚料理を提供する飲食店を営む岡崎さんも、庄内浜の魚の魅力を伝え続けています。家業を継ぎ、料理人として板場に立ちながら、近年は地域の恵みを生かした加工食品を開発し、新しいチャンネルで庄内産の食を消費者に届けようと取り組んでいます。

「志田さんが話されていたように、庄内の魚は本当に質が高いと感じます。そのことをお店に来店された方にしか伝えられないもどかしさから、加工食品として販売することを思いつきました。しかし、県外の物産展に出店すると、山形に海のイメージがないことを肌で感じます。海岸線も短く、漁に出られる日が限られているという難しさもありますが、それを希少性と捉え、しっかりと価値を伝えられる商品をつくっていきたいと思っています」。

現在は、在来の作物と海の幸をかけ合わせ、庄内の風土が垣間見える食品の開発に力を注いでいます。

「魚の味わいだけでなく、その背景にある土地や文化にも思いを馳せてもらえたらと思います」。

時代とともに変わる海と生きていく

近年、海的环境は大きく変化し、これまで当たり前前に獲れていた魚が減少したり、新たな魚種が獲れるようになっていくと二人は話します。

「海水温の上昇や潮の流れの変化により、これまで獲れていた魚が減り、逆にこれまで少なかった魚が獲れるようになるなど、海の変化を感じます。こうした変化の多い漁場で、今ある魚をどう生かすかが、これからの漁業を支える力になっていくのかもしれない。」と話す志田さんに岡崎さんがうなずきながら応えます。

「以前は未利用魚や低利用魚をどう生かすかを考えていましたが、今はその垣根を外して、その時々水揚げされた魚で料理や商品を考えるようになりました。これから何が獲れるかわからない中で、目の前にある魚を受け入れ、価値を生み出していく。今は、まさにそうした姿勢が一番求められていると感じています。だからこそ、地元の魚に目を向けてほしいですね」。

岡崎さんの言葉に、志田さんも静かにうなずきます。

「普段立ち寄るスーパーで“庄内産”と表示された魚を見かけたら、ぜひ手に取ってみてください。それが私たちの励みになります。漁師の仕事は、本当に面白いです。自然が相手なので、思い通りにいかないことの方が多いのですが、それもまた楽しいです」。感覚を頼りに魚を追い、豊漁だった日の達成感、何のものにも代えがたい喜びだと語ります。

庄内浜に向き合う漁師と料理人。それぞれの立場から海と魚に寄り添い、自然とともに生きながら、その恵みを次の世代へとつなごうとしています。

二人のまなざしは、庄内の食と暮らしの未来を見つめながら、さらにその先にある希望の光を見据えているようです。

<10 から 11 ページ>

タイトル **県議会だより** 第 110 号

県議会の最新情報コチラから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

6 月定例会の概要

令和 7 年 6 月定例会は、6 月 12 日から 7 月 1 日までの 20 日間の会期で開催されました。

教育費負担軽減の国庫補助制度の拡充に伴う対応や物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援を含む令和 7 年度一般会計補正予算、山形県副知事定数条例の一部を改正する条例の制定、副知事の選任についてなど、追加提案を含む知事提出の 28 議案を可決・同意しました。また、意見書 2 件を可決しました。

山形県副知事定数条例の一部を改正する条例の制定については、副知事の定数を 1 人から 2 人に改めるもので、7 月 1 日に追加提案された副知事の選任について同意したことにより、平成 21 年以來の副知事 2 人制となりました。

今定例会では、モンテディオ山形新スタジアム整備に対する県の支援や、子どもの高度医療など幅広い分野で活発な質疑質問が行われました

6 月定例会で質疑質問を行った議員

詳しくはこちらから

録画中継

<https://gikai.pref.yamagata.jp/yamagatapref/vod>

会議録検索システム(注釈 6 月定例会分は 9 月以降に掲載予定)

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html>

広報誌「県議会やまがた」(公民館等で閲覧可)

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/outline/assemblypublic/kengikaiyamagata.html>

代表質問(6月17日)

自由民主党 矢吹栄修議員(天童市選挙区)

◆モンテディオ山形新スタジアム整備に対する県の支援 など

県政クラブ 今野美奈子議員(鶴岡市選挙区)

◆子どもの高度医療 など

一般質問(6月18日)

自由民主党 石塚慶議員(鶴岡市選挙区)

◆持続可能な山形県の漁業振興策 など

県政クラブ 佐藤寿議員(酒田市・飽海郡選挙区)

◆飛島の「特定有人国境離島地域」への追加指定 など

自由民主党 相田光照議員(米沢市選挙区)

◆新たな土砂災害警戒区域等の指定に向けた今後の対応 など

予算特別委員会(6月20・23・24日)

自由民主党 鈴木学議員(東村山郡選挙区)

◆特定都市河川における治水対策 など

日本共産党山形県議団 石川渉議員(山形市選挙区)

◆物価高騰対策と消費税 など

自由民主党 高橋弓嗣議員(東根市選挙区)

◆持続可能な果樹栽培 など

自由民主党 佐藤正胤議員(鶴岡市選挙区)

◆人口減少対応の基本的な考え方 など

県政クラブ 橋本彩子議員(寒河江市・西村山郡選挙区)

◆西村山新病院 など

自由民主党 梶原宗明議員(酒田市・飽海郡選挙区)

◆山形新幹線の庄内延伸 など

県政クラブ 松井愛議員(山形市選挙区)

◆県立高校におけるトイレ個室への生理用品の設置 など

自由民主党 船山現人議員(東置賜郡選挙区)

◆置賜地域の農業の現状認識と今後の目指すべき方向性 など

議会用語

意見書

公益に関することについて、国会や国などの関係行政庁に対し、議会の意思を意見としてまとめて提出する文書のこと。

意見書には、①請願に基づくものと②議会独自の意思に基づくものがあります。

6月定例会で可決した意見書は、②議会独自の意思に基づくものです。

2つの意見書を関係省庁などに提出

「中国軍機による自衛隊機への異常接近に対し毅然とした外交的対応を求める意見書」と「米の安定供給と稲作農家の生産意欲向上に向けた施策の推進を求める意見書」を可決し、国会および関係する省庁などに提出しました。

中国軍機による自衛隊機への異常接近に対し 毅然とした外交的対応を求める意見書

6月に太平洋上の公海上空で発生した、海上自衛隊の哨戒機に対する中国軍戦闘機の異常接近行為について、中国政府に対する明確かつ厳重な抗議や外交的措置の検討、国際社会に対する日本の正当性の発信など、日本政府の毅然とした対応を要望しています。

米の安定供給と稲作農家の生産意欲向上に向けた施策の推進を求める意見書

日本人の主食である米について、食料安全保障の強化に向けた安定供給の確保を求めるとともに、稲作農家の安定的な収入確保に向けた施策の実施を要望しています

税財源確保や社会資本整備の促進などについて政府へ要望

5月29日、東京都内で財政基盤強化対策県議会議長協議会の総会が開催されました。本協議会は、財源確保、地域格差の是正を図り、地域住民の生活安定および福祉の向上に努めることを目的に、本県を含む17県で構成し、本県議会の田澤伸一議長が副会長を務めています。

総会では、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額の確保・充実を求めるため、税財源確保や社会資本整備の促進についての要望を決定するとともに、総会終了後には会長県である長崎県議会議長と総務省などで要望活動を行いました。

令和8年度の政府の施策等に対する提案活動を実施

6月4日、田澤議長が吉村知事とともに、各府省に対し「令和8年度政府の施策等に対する提案」に係る提案活動を行いました。

坂井内閣府特命担当大臣、三原内閣府特命担当大臣をはじめ、農林水産、総務、国土交通、経済産業、厚生労働各省の副大臣、政務官に面会し、被災者生活再建支援制度の充実や子育て世帯の経済的負担の軽減などの主要な項目について提案内容を説明し、意見交換を行いました。

県議会ギャラリーで ヤマガタスチームアカデミーの研究成果を紹介

県議会ギャラリーでは、6月定例会の期間中、山形大学「ヤマガタスチームアカデミー」の受講生(小学5年生から中学3年生)が令和6年度に取り組んだ課題研究の成果などを展示しました。

県議会では、県内の児童、生徒、学生の皆さんが学校の授業や部活動などで制作した作品を展示するスペース「県議会ギャラリー」を提供しています。県議会に作品を展示してみませんか。

山形県議会ホームページは 県議会の情報が満載です。ぜひご覧ください!!

- ① 定例会の概要や議会の日程
- ② 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- ③ 可決した意見書・決議の内容
- ④ 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- ⑤ 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

お問い合わせは 編集発行/県議会事務局政策調査室
電話番号 023-630-2845
詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12 から 13 ページ>

タイトル **山形の秋のフルーツ**

甘く熟した果実が店先に並び、旬の味覚を楽しむ絶好の季節がやってきました！

りんご 収穫期:9月から12月

山形県のりんご生産量は全国第4位。主力品種の「ふじ」をメインに、本県で生まれた「秋陽」など、多種多様なりんごが栽培されています。果肉の中にあめ色の蜜がたっぷりに入った、本県産「ふじ」のおいしさは全国でも評判です。

西洋なし 収穫期:10月から12月

山形県は西洋なしの生産量日本一。全国シェアの約7割を占めています。特に有名な「ラ・フランス」は上品でとろけるような味わい。山形県は西洋なし王国として、県オリジナル品種の「メロウリッチ」や「バロード」など、多彩な品種が栽培されています。

桃 収穫期:8月から9月

山形県の桃の生産量は全国第4位。夏の夜の涼しさが甘くておいしい桃を育てると言われています。品種は多く、「あかつき」、「川中島白桃」などが定番です。

日本なし 収穫期:9月から10月

山形県では庄内地域を中心に栽培されています。その中でも刈谷のなしは甘さが格別。肥沃な土地と作り手の熱意が生み出すおいしさは、地元だけでなく全国でも高く評価されています。

柿 収穫期:10月から11月

庄内柿は庄内地域でとれる柿のブランド名で代表的な品種は「平核無(ひらたねなし)」です。果肉が綿密で引き締まり、みずみずしく、糖度が高くて、上品な甘さが特徴です。

問い合わせ 園芸大国推進課 電話番号 023-630-2453

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

名古屋エリア 東海地域 名古屋で本県の魅力を発信！

名古屋事務所では、168名の山形県の応援団「東海山形県人会」の皆さまと連携しながらPR活動を展開しています。

今年度は東海山形県人会が発足して50周年を迎える記念の年であり、6月8日には吉村知事や愛知県の大村知事をはじめ多くの来賓を招いて県人会総会・懇親会が盛大に開催されました。当事務所も山形県の観光や物産に加え、愛知県と山形県のつながりなどを紹介し、両県の交流拡大を図ったところです。

また、名鉄百貨店での山形県物産展では県人会とともに観光案内を実施したほか、「ふるさと全国県人会祭り」や「県人会芋煮会」などの秋のイベントでも山形県を紹介する予定です。

今後も県人会の皆さまとしっかりと連携し、さまざまな機会を捉えて本県と東海地域の交流拡大に積極的に取り組んでいきます。

写真キャプション1 県人会総会・懇親会での様子

写真キャプション2 名古屋市内のお祭りへ花笠踊りでパレード参加

問い合わせ 名古屋事務所 電話番号 052-265-9841

タイトル **県内おススメ文化・スポーツ情報**

やまぎん県民ホールイベント情報

東北ユナイテッド山響×仙台フィル合同演奏会 2025

東北が誇る2つのプロ・オーケストラがタッグを組んで名曲の数々をお届けします。

開催日時

9月14日(日曜日)午後3時

出演

指揮 鈴木優人、管弦楽 山形交響楽団・仙台フィルハーモニー管弦楽団

曲目

ムソルグスキー「展覧会の絵」ほか

料金

S席 5,800円 A席 4,800円 B席 3,000円 ほか

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

こども郷土芸能・芸術まつり

未来へつづけ文化のやまがた 2025

県内の文化芸術活動を未来へつないでいくことを目的に、次世代の子どもたちとともに活動する文化団体の中から今年は5団体が、日頃の成果を発表します。

開催日時

11月1日(土曜日)午後1時30分

出演

ユミ・バレエアーツ、佐藤洋子バレエスクール、念珠関辨天太鼓子供会、釜淵囃子保存会、山形県民踊協会子ども民踊教室

料金:無料

また本日も休診

山医者のうた

那須高原に佇む小さな診療所で繰り広げられる笑いあふれる人情喜劇舞台化決定!

開催日時

11月22日(土曜日)午後1時

出演

柄本明、渡辺えり、江口のりこ、佐藤B作、笹野高史 ほか

料金

S席 9,800円 A席 7,800円 B席 5,000円 ほか

一般発売日

9月7日(日曜日)午前10時

(注釈)初日はインターネット・電話のみ受付。窓口販売は翌8日(月曜日)午前10時から。初日に予定枚数が終了した場合、窓口販売は無し (注釈)先行販売に関する詳細はホームページを確認

お問い合わせ やまぎん県民ホールチケットデスク

電話番号 023-664-2204(受付時間:水曜日から月曜日の午前10時から午後7時)

山形交響楽団演奏会

第327回定期演奏会

開催日時

9月6日(土曜日)午後7時

9月7日(日曜日)午後3時

出演

指揮 阪哲朗、ピアノ 小林愛実

曲目

小田実結子／山響委嘱新作(世界初演)、ラヴェル／ピアノ協奏曲 ト長調、シューベルト／交響曲 第8番 ハ長調「ザ・グレート」D.944

会場

山形テルサホール(山形市)

前売り券

A席 5,500円、B席 5,000円 ほか

第328回定期演奏会

開催日時

10月18日(土曜日)午後7時

10月19日(日曜日)午後3時

出演

指揮 原田慶太楼、ピアノ マルティン・ガルシア・ガルシア

曲目

芥川也寸志／秋田地方の子守歌、ニールセン／交響曲 第1番 ト短調作品7、ショパン／ピアノ協奏曲
第1番ホ短調 作品11

会場

山形テルサホール(山形市)

前売券

A席 5,500 円、B 席 5,000 円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

山響チケットサービス 電話番号 023-616-6607

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時

9月14日(日曜日)午後7時

対戦チーム

カタレ富山

日時

9月27日(土曜日)午後6時

対戦チーム

レノファ山口 FC

日時

10月19日(日曜日)午後2時

対戦チーム

ロアッソ熊本

日時

10月26日(日曜日)午後1時

対戦チーム

アールビー大宮アルディージャ

会場 ND ソフトスタジアム山形(天童市)

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

問い合わせ スポーツ振興課 電話番号 023-630-3156

旬のやまがた美食レシピ 蔵王かぼちゃのごちそうサラダ

材料(4人分)

蔵王かぼちゃ 4分の1個(約500グラム)、玉ねぎ 中玉2分の1個、クリームチーズ 100グラム、マヨネーズ 大さじ4、ミックスナッツ 30グラム、塩コショウ 適量

作り方

- 1 かぼちやを4センチから5センチ角に切る。
- 2 串がスツと入る程度まで電子レンジで加熱する。
(注釈)容器に1と水大さじ2を加え、ラップをして600ワット約5分)
- 3 玉ねぎを薄くスライスして水にさらす。
- 4 かぼちやの皮をとり、粗めにつぶす。
- 5 4に玉ねぎ、マヨネーズ、ちぎったクリームチーズ、塩コショウを加えて混ぜる。
- 6 最後に砕いたミックスマッツをかけて完成!

レシピ提供:にのと農園 ニノ戸新太氏

蔵王かぼちや

収穫時期:9月

蔵王成沢の農家が昭和23年、旧中川村中山地区(現上山市)の実家から種子を持ち込んだのが始まりと言われています。果皮色が灰白青色で、マサカリやナタを使わないと切れないほど硬く「マサカリかぼちや」とも呼ばれてきました。食味がよくホクホク感があり、長期間保存しても風味が落ちないのが特徴です。

問い合わせ 村山総合支庁農業技術普及課 電話番号 023-621-8294

<14 から 15 ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和7年7月1日現在(プラスマイナス前月比)

人口総数 997,341人(前月比マイナス924人)

世帯数 401,948世帯(前月比マイナス23世帯)

【募集】

令和8年度学生募集

東北農林専門職大学(新庄市)

募集学科

農業経営学科 森林業経営学科

総合型選抜試験、特別選抜試験

出願期間

9月22日(月曜日)から10月3日(金曜日)

試験日

10月18日(土曜日)

指定校推薦型選抜試験

11月4日(火曜日)から11月11日(火曜日)

試験日

11月22日(土曜日)

一般選抜試験

出願期間

1月26日(月曜日)から2月4日(水曜日)

試験日

2月25日(水曜日)

課程 全て4年

問い合わせ 東北農林専門職大学教務学生課 電話番号 0233-25-8302

東北農林専門職大学附属農林大学校(新庄市)【通称:山形農林大学校】

募集学科(コース)

○稲作経営学科

○果樹経営学科

○野菜・花き経営学科(野菜コース・花きコース)

○畜産経営学科

○農産加工経営学科

○林業経営学科

学校推薦型選抜試験

出願期間

10月17日(金曜日)から10月24日(金曜日)

試験日

11月5日(水曜日)

一般選抜試験

出願期間

11月18日(火曜日)から11月25日(火曜日)

試験日

12月3日(水曜日)

課程 全て2年

お問い合わせ 東北農林専門職大学附属農林大学校教務学生担当

電話番号 0233-22-1528

【催し物】

食支援フォーラムイン庄内 2025

高齢者など、介護や支援が必要な方が口からおいしく食べることを支援する「食支援」に対する理解を深め、支援体制をさらに強化することを目的に、医療や介護などに携わる方や地域の皆さんを対象としたフォーラムを開催します。講演や、地域の食支援団体の活動報告、嚥下機能に配慮した食品などの紹介コーナーを予定しています。皆さん、ぜひ一緒に「食支援」について理解を深めてみませんか。

日時

9月6日(土曜日) 午後0時30分から午後4時30分

会場

東北公益文科大学公益ホール(酒田市)

講演

「食支援がつなげる地域の笑顔～いつまでも口から食べるために～」ヒューマンデンタルクリニック 歯科医師 飯田良平氏

参加費

無料

詳細・お申込みはこちら

<https://www300.pref.yamagata.jp/337021/kenfuku/kenko/syokushienforum2025.html>

問い合わせ 庄内保健所保健企画課 電話番号 0235-66-5476

やまがたウッド・フェスティバル 2025(第33回山形県林業まつり)

木とふれあおう！ 山のめぐみを楽しもう！

日時 10月18日(土曜日)午前10時30分から午後4時

10月19日(日曜日)午前9時30分から午後3時

場所

やまぎん県民ホールイベント広場(山形市)

内容

山形の林業の魅力を伝える展示や体験コーナーを設置し、県産木材で作った木製品やきのこなどの販売も行います。会場内ではスタンプラリー企画や、親子で楽しめる木工体験、きのこ汁などのふるまいなど、多彩なイベントが開催されます

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp//140023/shinrin/ringyomatsuri.html>

問い合わせ 山形県林業まつり実行委員会(森林ノミクス推進課) 電話番号 023-630-2528

やまがた健康フェア 2025 開催

県では、県民一人ひとりの健康意識の向上や自発的な健康づくりを図るため「やまがた健康フェア 2025」を開催します。こどもからお年寄りまで幅広い世代が楽しみながら健康づくりを体験できる多彩なブースやイベントをご用意しています。専門家による健康相談や、健康知識を楽しく学べるクイズやゲームを通して、健康への理解を深めることができます。ご家族やお友だちと一緒にぜひご来場ください！

日時

9月13日(土曜日)・14日(日曜日)午前10時から午後4時(14日は午後3時まで)

場所

イオンモール天童(天童市)

詳しくはこちら <https://yamagata-kenko.com/>

問い合わせ がん対策・健康長寿日本一推進課 電話番号 023-630-2337

【お知らせ】

防犯用品購入キャンペーン

山形県警察では、全国で発生している特殊詐欺事件や強盗事件などを受け、県民の防犯対策と防犯ボランティアを支援する防犯用品購入キャンペーンを実施しています。

応募期間

12月18日(木曜日)まで

対象製品

- ①迷惑電話防止機能付き固定電話機
- ②住宅用防犯設備(防犯カメラ、センサーライト、ドアホン、防犯ガラス、防犯フィルム)
- ③青色防犯パトロール用資機材(青色回転灯など、マグネットプレート)を購入した県内在住者に、対象製品の購入費などに応じてギフトカードを進呈、購入費用の一部を補助します。

キャンペーン特設サイト 詳しくはこちら <https://boucam-yamagata.com/>

キャンペーン事務局(シー・キャド株式会社) 電話番号 023-626-3330

問い合わせ 警察本部生活安全企画課 電話番号 023-626-0110

国勢調査 2025

いざ、国勢調査！

今年5年に1度の国勢調査が実施されます。日本に住むすべての方を対象にした調査で、その結果は、子育て支援や防災対策など、さまざまな施策に役立てられます。回答方法はインターネットのほか、紙の調査票を郵送または調査員に提出いただくかのいずれかの方法が選べます。中でもインターネット回答は簡単便利でおすすめです。特に、スマホからの回答は、二次元コードを読み取ると簡単にログインでき、アイディやパスワード(アクセスキー)の入力が不要です。

回答期間

ネット回答 9月20日(土曜日)から10月8日(水曜日)

紙での回答 10月1日(水曜日)から10月8日(水曜日)

調査内容

世帯の方の年齢や職業、住居についてなど、全16問にお答えいただきます。皆様のご協力をお願いします。

詳しくはこちら

https://www.kokusei2025.go.jp/?utm_source=tool&utm_medium=other&utm_campaign=soumu

問い合わせ 統計企画課 電話番号 023-630-2177

9月は「県自殺対策推進月間」です

心の健康に関する相談をお受けします。一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

こころの健康相談統一ダイヤル 電話番号 0570-064-556

受付時間

月曜日から金曜日(祝日除く) 午前9時から正午、午後1時から午後5時

(注釈)9月10日(水曜日)から16日(火曜日)は土日祝日を含め午前9時から午後5時まで対応しません。

〇こころの健康相談アットマーク山形

ラインを利用した相談窓口を毎日午後6時30分から午後10時まで開設しています。

(注釈)9月は受付時間を午後11時まで延長します。

アカウントはこちら <https://page.line.me/950wtmqh?openQrModal=true>

問い合わせ 地域福祉推進課 電話番号 023-630-2269

山形県宝くじ情報

県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじは山形県内でお買い求めください。

ハロウィンジャンボ宝くじ 5億円 ハロウィンジャンボミニ 5,000万円

発売期間 9月19日(金曜日)から10月19日(日曜日)

詳しくはこちら <https://www.takarakuji-official.jp/>

問い合わせ 財政課 電話番号 023-630-2044

県内にポケモンマンホール「ポケふた」が設置されました！

令和7年6月6日、ポケモンが描かれたマンホール蓋「ポケふた」5枚がお披露目され、県内5か所に設置されました。山形県に初めて設置された「ポケふた」を探しに行ってみましょう！

設置場所

- やまぎん県民ホール(山形市)
- 最上川ふるさと総合公園(寒河江市)
- 肘折温泉いでゆ館(大蔵村)
- 道の駅白い森おぐに(小国町)
- 由良海水浴場近く(鶴岡市)

©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

プレゼントクイズ

ヒントは2から3ページの特集

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させて温室効果ガスを増やさないようにすることを「〇〇〇〇ニュートラル」という。さて、〇〇〇〇(カタカナ)には何が入るでしょうか？

A賞 庄内浜 たこ飯の素【5名様】

新栄水産有限会社 第5回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」畜水産加工品部門 優秀賞

B賞 うまかめし雪若丸【10名様】

有限会社ドリームズファーム 第5回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」主食部門 優秀賞

正解者の中から抽選で賞品をプレゼント！はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①から③をご入力の上、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jp に送信してください。

あて先: 郵便番号 990-8570(住所は不要です)山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」9月号プレゼントクイズ係

締め切り: 9月30日(火曜日)(当日消印有効) (注釈) 応募いただいた個人情報、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

<16 ページ>

タイトル 潜入レポート

どうなってるの!?

山形鉄道株式会社

「フラワー長井線」で知られる山形鉄道ってどんな会社なの？

日々の列車の運行から、楽しいイベント企画まで

地域に根付いたフラワー長井線を目指しています。

山形鉄道は、前身の国鉄長井線を含めると100年以上の歴史を持ち、南陽市の赤湯駅から白鷹町の荒砥駅までをつなぐ、全長30.5キロを走る鉄道です。昭和63年に山形鉄道株式会社に移行してからは、フラワー長井線の名で親しまれ、沿線の高校生を中心に1日約1,000人が利用しています。

フラワー長井線では、列車に乗りながらラーメンやそばが食べられるイベントや、列車の運転体験など、おもしろいイベントをたくさん行っています。最近では外国から来る旅行者も多く乗車するなど、多くの方に楽しんでもらえる列車になっています。

写真キャプション1 車内でラーメンが食べられるなんて!!

写真キャプション2 記念切符やオリジナルグッズも販売しています

ヒミツポイント

<線路の状況を24時間チェック>

司令室には、路線や列車の状況を確認するためのモニターがずらり。皆さんの安全を守る、とても重要な役割です。

<列車は花柄のデザイン!>

現在、南陽の桜、川西のダリア、長井のあやめ、白鷹の紅花と沿線市町を象徴する花をモチーフに車体をラッピング。

山形鉄道株式会社 代表取締役社長

中井 晃（なかいあきら）さん

山形鉄道は、皆さんが心地よく列車に乗れるよう、毎日時間通りの運行を心がけています。親子やお孫さんと一緒に使えるお得な切符もあるので、家族でのお出かけにぜひご利用ください。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和7年9月号 647号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>